



JAPAN TOP LEAGUE

**平成28年度
日本トップリーグ連携機構
GM研修会
参加者ノート**

**公益財団法人大崎企業スポーツ事業研究助成財団
助成事業**

**2017年1月21日(土)～22日(日)
味の素ナショナルトレーニングセンター**



■ ごあいさつ



日本トップリーグ連携機構
代表理事会長
川淵 三郎

日本トップリーグ連携機構(JTL)は2005年5月24日に、日本における団体ボール競技、8競技9リーグのトップリーグが連携し、互いのリーグの強化活動の充実ならびに運営の活性化を図ってゆくことを目的に設立されました。その後4リーグを加え、現在9競技13リーグが加盟しています。

特にスポーツ界では、横断的に連携・協力して国際競技力を高めてオリンピック、世界選手権大会で好成績を収めなければなりません。

当機構では各リーグのメンバーから構成される事業推進委員会を中心に、重点事業として「国際競技力向上への支援事業」、「リーグ活性化支援事業」、「研修会事業」、「地域との連携事業」、などの諸活動を展開しております。

2011年7月1日には、一般社団法人格を取得し、今後も日本の団体競技が国際舞台において目覚ましい活躍ができるように、当機構、参加トップリーグ、トップチームが協力・連携してまいります。

当機構の設立趣旨・目的・活動にご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2017年1月

■ 趣旨・目的

東京大会以降、日本のオリンピックにおける成績は低迷を続けてきました。しかし、「ニッポン復活プロジェクト」を始めとする様々な強化・支援活動により、2016年リオデジャネイロ大会においては史上最多の41個のメダルを獲得しています。

しかしながら、団体ボール競技の多くはオリンピックに出場する事が精一杯であり、リオ五輪ではメダルに届くことができませんでした。この結果を受け、早急に「団体ボール競技復活」を実現していかなければならないと考えます。

そこで、各競技団体のトップリーグの連携を通して、さらなる強化活動の充実のため「2020強化支援プロジェクト」を立ち上げ、また若手研修会、審判研修会およびGM研修会を通して競技を取り巻く人材育成も行い、各競技団体と一体となって代表チームの強化に努め、メダル獲得を目指すとともに各トップリーグの活性化を図ってまいります。また、「ボールゲームフェスタ」全国各地で開催することにより、子供たちの発達育成に貢献し、9競技の普及にも寄与いたします。



平成28年度 日本トップリーグ連携機構 GM研修会Ⅱ 開催要項

主 旨： 当機構には団体ボール競技の日本のトップリーグ9競技13リーグ300以上のチームが加盟しています。各競技を活性化するためには、先ずチームのマネジメント機能強化が不可欠です。特に企業がチームを保有する意義を社会貢献・地域活動をはじめとした企業戦略と捉え、市民・自治体との連携を求めています。

当機構は平成23年度からトップレベルスポーツクラブマネジメント強化事業として、マネジメント強化のためのコンサルティング・研究事業を実施してきました。この事業実施に当っては国内の各分野専門家を組織化しました。ここでの研究事業を具体的方策として各チームにフィードバックするために、当機構加盟チームのGM(ゼネラルマネジャー)にあたる方を対象に、チームマネジメントを強化して時代に即したチーム運営、リーグ運営の強化することを目的に1泊2日の研修会を開催いたします。

主 催： 一般社団法人日本トップリーグ連携機構

後 援： 公益財団法人大崎企業スポーツ事業研究助成財団

協 力： 一般財団法人スポーツヒューマンキャピタル

場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 東京都北区西が丘3-1
宿 泊：

参加者： 当機構加盟9競技13リーグ約300チームのGM(ゼネラルマネージャー)、マネジメント担当者および各リーグ運営者、その他各リーグの推薦するもの。

備 考： 日本トップリーグ連携機構では、GM研修会参加者全員対象の傷害保険に加入しております。



Training Agenda GM研修会



JAPAN TOP LEAGUE

日 程 : 平成29年1月21日(土) ~ 22日(日)

場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室③(21日)、小研修室①②(22日)

■ 1月21日(土) ■

時 間	日 程	場 所
13:30~14:00	受付	研修室③
14:00~14:10 (10)	開講式・ご挨拶 一般社団法人日本トップリーグ連携機構 副専務理事 真下 昇	
14:10~14:20 (10)	オリエンテーション 一般社団法人日本トップリーグ連携機構 事務局	
14:20~15:20 (60)	「スポーツの成長産業化について」 スポーツ庁参事官(民間スポーツ担当)付参事官補佐 松山 大貴 氏	
15:20~15:50 (30)	「研修会の目的」 一般財団法人スポーツヒューマンキャピタル 業務執行理事 公益社団法人日本プロサッカーリーグ JHCグループ グループマネージャー 中村 聡 氏	
16:00~19:15 (195)	「コミュニケーション/リーダーシップを考える」 ファシリテーター:株式会社TM Future 代表取締役 B.LEAGUE 理事 竹内 美奈子氏	
19:30~21:00	夕食 懇親会	小研修室 ①②

■ 1月22日(日) ■

時 間	日 程	場 所
9:00~12:00 (180)	「コミュニケーション/リーダーシップを考える」 ファシリテーター:株式会社TM Future 代表取締役 B.LEAGUE 理事 竹内 美奈子氏	小研修室 ①②
12:00~12:45	昼食	
12:45~14:15 (90)	「スポーツクラブとソーシャルメディア」 TRENSYS 代表 上田 大介 氏	
14:30~16:00 (90)	研修会のまとめ ファシリテーター:株式会社TM Future 代表取締役 B.LEAGUE 理事 竹内 美奈子氏	
16:00~	閉講式	



GM研修会 参加者リスト (敬称略)

	推薦団体	氏名		所属（チーム名）	役職
1	一般社団法人日本女子サッカーリーグ〔3名〕	堤 葉子	つつみ ようこ	JFAアカデミー福島	総務
2		三浦 哲治	みうら てつじ	静岡産業大学磐田ボニータ	サッカーGM
3		杉浦 正隆	すぎうら まさたか	静岡産業大学磐田ボニータ	いわた総合スポーツクラブ担当
4	ホッケー日本リーグ機構〔2名〕	久我 晃広	くがあきひろ	駿河台大学LADYBIRDS	監督
5		関口 幸吉	せきぐち こうきち	駿河台大学（男子）	コーチ
6	日本女子ソフトボールリーグ〔2名〕	湯本 善之	ゆもと よしゆき	ビックカメラ高崎 BEE QUEEN	チーム部長
7		深川 博志	ふかがわ ひろし	豊田自動織機 シャイニングベガ	チーム部長
8	日本フットサルリーグ〔1名〕	北野 正義	きたの せいぎ	バルドラール浦安	事業運営統括
9	一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会〔2名〕	巽 哲夫	たつみ てつお	パナソニック インパルス	事務局長
10		渡部 滋之	わたなべ しげゆき	一社）日本社会人アメリカンフットボール協会	理事
11	日本フットボールリーグ〔4名〕	神崎 康稔	かんざき やすとし	ヴェルスパ大分	運営委員
12		遠藤 康弘	えんどう やすひろ	栃木ウーヴァFC	わいわいプロジェクトリーダー
13		井上 晴雄	いのうえ はるお	ラインメール青森	チーフマネジャー
14		石下 智大	いしした とみひろ	プリオベッカ浦安	運営委員
15	公益社団法人日本プロサッカーリーグ〔1名〕	山崎 宏	やまざき ひろし	アスルクラロ沼津	取締役/営業部長

男14名/女1名/合計15名

役員・事業推進委員・事務局

	担当	氏名	所属
1	役員	真下 昇	一般社団法人日本トップリーグ 副専務理事
2	事業推進委員会	本山 茂樹	事業推進委員会 アドバイザー
3		北村 正輝	事業推進委員
4		藤井 康弘	事業推進委員
5	Jリーグ	田窪 範子	Jリーグヒューマンキャピタル（JHC）グループ
6	事務局	田口 禎則	一般社団法人日本トップリーグ連携機構 理事/事務局長
7		竹内 みゆき	一般社団法人日本トップリーグ連携機構 事務局
8		赤石 京子	一般社団法人日本トップリーグ連携機構 事務局





東京国際映画祭事務局等を経て、2011年経済産業省中途入省。エネルギー政策、地域経済産業政策、地方創生等を担当し、昨年11月にスポーツ庁に出向。スポーツ庁創設に伴い新設された現部署にて、スポーツ産業振興策の立案・実施を担当。



【1月21日(土)】

リーダーシップ/コミュニケーションを考える

株式会社TM Future 代表取締役

公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ (Bリーグ) 理事

竹内 美奈子 (たけうち みなこ)

立命館大学法学部卒。

NECの人材開発部門にて10年間人財育成に従事、その後プロジェクトマネージャー兼ラインマネージャーとして、システム構築の統括や組織マネジメント、新規サービスの立上げを行う。2003年よりグローバルヘッドハンティング会社にジョインし、2007年より代表取締役副社長。2013年「人」の能力を引き出し、組織力を向上させる「タレントマネジメント」を支援する(株)TM Futureを立上げる。企業、大学、パブリック、非営利法人を問わず、人と組織の問題、リーダー育成のコンサルティングやプロジェクト支援、ダイバーシティ推進、メンタリング活動などを行う。2015年よりジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ (Bリーグ) 理事。



【1月22日(日)】

リスクマネジメント/スポーツ組織とSNS

TRENSYS 代表

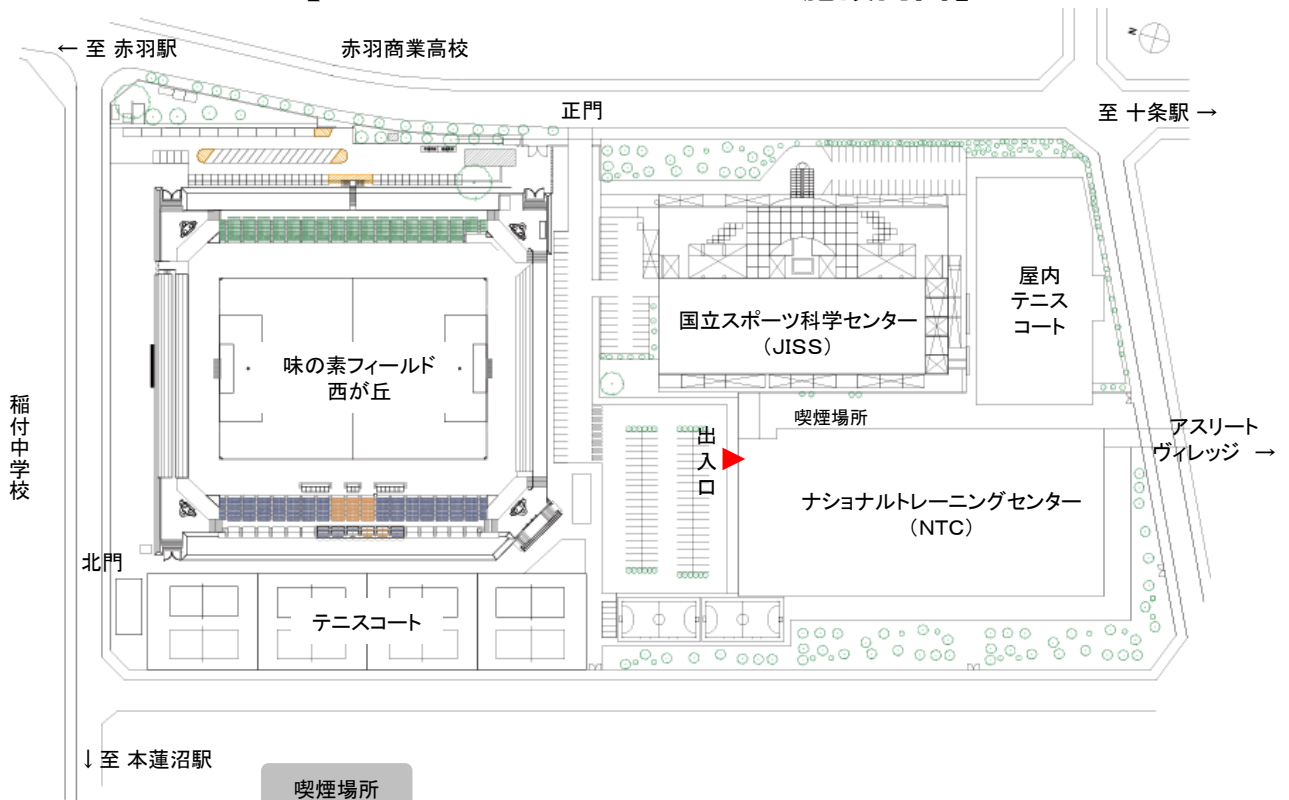
上田 大介 (うえだ だいすけ)

■プロフィール

1982年12月、京都市生まれ。広告制作会社を経て2009年1月TRENSYSを創業。ウェブマーケティングに取り組み、企業の宣伝・広告・販促・広報のディレクションを担当。2012年より研修講師としてプロスポーツ選手を対象にソーシャルメディアがもたらす影響やリスク・効果的な活用法を伝える活動を行っている。

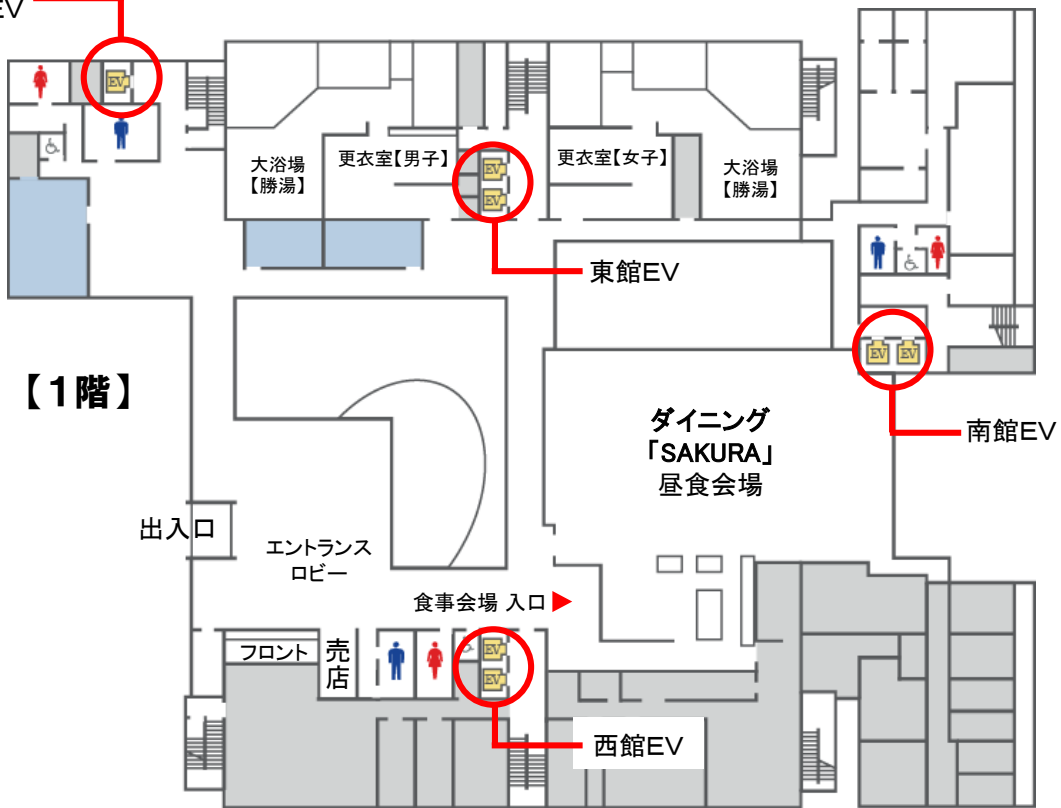


【ナショナルトレーニングセンター 施設内図】



【アスリートヴィレッジ 建物内図】

研修室 又は
NTCへのEV



研修室 又は
NTCへのEV

懇親会会場
研修会場
(1/22)

【2階】

